

第29回木津川市都市計画審議会議事録

- 1 日 時 令和3年7月30日（金） 午前10時から
- 2 場 所 木津川市役所 全員協議会室
- 3 出席者 （委員）宗田委員、大庭委員、井上委員、河崎委員、牧井委員、河
委員、兎本委員、倉委員、西山委員、酒井委員、渡辺委員、藤原委員、
勝山委員、公文代委員、森村委員、光橋委員、尾崎委員、藤田委員
（木津川市）河井市長、滋井部長、河合理事、竹谷次長、大黒参事、
島川担当課長、柳沢課長補佐、兼嶋主事
- 4 議 事
日程第1 会長の選出について
- 5 その他
- 6 閉 会

○柳沢課長補佐 お待たせいたしました。ただいまから、第29回木津川市都市計画審議会を開催させていただきます。

私、本日司会をさせていただきます都市計画課課長補佐、柳沢と申します。よろしくをお願いいたします。

現在、18名の委員の御出席をいただいております、委員の2分の1という定足数を満たしており、当審議会条例第5条第2項の規定により、本日の審議会が成立しておりますことを御報告いたします。

それでは、お手元に第29回木津川市都市計画審議会資料をお配りしておりますので、配付資料の御確認をお願いいたします。

まず、1、次第でございます。2、配席図でございます。3、委員名簿でございます。4、木津川市都市計画審議会条例でございます。5、木津川市都市計画審議会条

例施行規則でございます。以上でございます。よろしいでしょうか。

続きまして、本日の日程でございますが、恐れ入りますが、先ほどの「次第」を御覧ください。

初めに、河井市長から開会の挨拶、そして委員紹介と続きまして、本日の議事は1件となっております。日程第1におきまして、木津川市都市計画審議会条例第4条第1項に基づきまして、新会長を選出いただきます。

会長を選出いただきましたら、新会長から御挨拶を賜りまして、その後、その他・閉会といった流れで進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、審議会の開催に際しまして、河井市長から御挨拶申し上げます。

○河井市長　皆様、おはようございます。

本日ここに、第29回木津川市都市計画審議会をお願いいたしましたところ、委員の皆様方には大変暑い中、また、大変御多用のところ御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、平素より木津川市のまちづくりに、格別の御支援・御協力を賜っておりますこと、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度は「第2次木津川市都市計画マスタープラン」の策定に当たりまして、宗田先生をはじめ、委員の皆様方には大変御尽力を賜りまして、誠にありがとうございました。同計画の目標でもあります「自然と文化を身近に　未来を拓く学研都市木津川」の実現に向けまして、今後10年間のまちづくりをしっかりと進めてまいりたいと考えております。

委員の皆様方におかれましては、これから2年間、まちづくりの根幹というべき本市のよりよい都市計画行政がしっかりと進めていけますよう、一層のお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びになりましたが、皆様方の御健闘、そしてますますの御活躍をお祈り申し上げます。まして、大変簡単ではございますが、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

ます。どうぞ皆様、よろしくお願い申し上げます。

○柳沢課長補佐 ありがとうございました。

次に、今回は現在の委員体制となりましてから、初めての都市計画審議会の開催となりますことから、委員の皆様の御紹介をさせていただきます。

お手元のA4の「委員名簿」をお開き願えますでしょうか。現在の委員の皆様を記載しております。

最初に、学識経験のある者から構成されます1号委員の皆様を御紹介申し上げます。

宗田委員でございます。

○宗田委員 おはようございます。宗田です。

○柳沢課長補佐 続いて、大庭委員でございます。

○大庭委員 大庭です。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、井上委員でございます。

○井上委員 井上でございます。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、河崎委員でございます。

○河崎委員 河崎と申します。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、牧井委員でございます。

○牧井委員 牧井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続きまして、木津川市議会の議員から構成されます、2号委員の皆様を御紹介いたします。

河口委員でございます。

○河口委員 河口です。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、兎本委員でございます。

○兎本委員 兎本です。どうぞよろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、倉委員でございます。

○倉委員 倉です。どうぞよろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、西山委員でございます。

○西山委員 西山です。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、酒井委員でございます。

○酒井委員 酒井です。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続きまして、関係行政機関または京都府の職員から構成されます、3号委員の皆様を御紹介いたします。

山城南土木事務所長の渡辺委員でございます。

○渡辺委員 渡辺でございます。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、木津警察署長の藤原委員でございます。

○藤原委員 藤原でございます。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、相楽中部消防組合消防本部消防長の勝山委員でございます。

○勝山委員 勝山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続いて、農業委員会長の公文代委員でございます。

○公文代委員 公文代です。よろしく。

○柳沢課長補佐 続いて、木津川市商工会長の森村委員でございます。

○森村委員 森村です。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 続きまして、本市の市民からの公募により構成されます4号委員の皆様の御紹介をいたします。

光橋委員でございます。

○光橋委員 光橋です。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 尾崎委員でございます。

○尾崎委員 尾崎です。どうぞよろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐 藤田委員でございます。

○藤田委員 藤田です。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐　　なお、委員の配席につきましては、委員名簿のとおりといたしますので、御了承願います。

次に、木津川市の主な職員につきましても、御紹介させていただきます。

木津川市長の河井でございます。

○河井市長　　河井でございます。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐　　建設部長の滋井でございます。

○滋井部長　　滋井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐　　建設部理事の河合でございます。

○河合理事　　河合と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐　　建設部参事の大黒でございます。

○大黒参事　　大黒です。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐　　建設部次長兼都市計画課長の竹谷でございます。

○竹谷次長　　竹谷でございます。よろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐　　都市計画課担当課長の島川でございます。

○島川担当課長　　島川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○柳沢課長補佐　　それでは、河井市長が、この後、公務のため退席させていただきますので、御了承願います。

○河井市長　　皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

(市長退席)

○柳沢課長補佐　　それでは、日程第1といたしまして、会長の選出についてを議題に供します。

本件は、任期満了に伴う木津川市都市計画審議会会長の選任についての案件でございます。

木津川市都市計画審議会条例第4条第1項によりますと、会長は学識経験のある者のうちから委員の選挙によって定めると規定されております。

都市計画課からの提案でございますが、委員の皆様からの指名推選の形をとらせて
いただきたいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

○柳沢課長補佐 異議なしということですので、それでは指名推選により、会長を
選出したいと存じます。どなたか会長の推薦をお願いしたいと思います。

どうぞ。

○牧井委員 牧井でございます。会長には、京都府立大学教授として都市計画法や、
その制度に御精通なさっておられます宗田先生に、ぜひとも会長をお務めいただき
たいと推薦申し上げたいと思います。いかがでしょうか。

○柳沢課長補佐 ただいま、牧井委員から宗田委員を推薦したいと御発言がござい
ました。ほかに御意見等はございますでしょうか。

御意見等がございませんので、牧井委員からの御提案のとおり、宗田委員を推薦に
より会長に選出することはいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○柳沢課長補佐 異議なしの声がございましたので、それでは、宗田委員に会長を
お願いしたいと思います。宗田会長、どうぞ会長席へお移り願います。

それでは、会長、どうぞよろしくお願いいたします。

○宗田会長 挨拶が先ですか。

○柳沢課長補佐 挨拶をお願いいたします。

○宗田会長 一言簡単に挨拶を。傍聴の方もおられるようなので、お待たせするの
もあれなので、簡単に座ったままで失礼します。

長年この木津川市都市計画審議会をやらせていただきまして、いろいろ勉強させて
いただくことが多かったのですが、長年にわたって都市計画審議会というのは大体、
こういったことを言うにあれですが、形骸化してまして、大体国がつくった制度に乗
っかって、それぞれの立場の人が集まって、しゃんしゃんと了解するという状況が、

今でも全国の多くの自治体がそういう形をしているのですが、木津川市は新しいまちでございまして、合併する前後から、割りと市民の皆さんの関心を集めて市政を運営している。だから、今日も傍聴の方も来ていただいているし、あとは市民公募委員が3人とも女性というのも、これも多分歴史に残るぐらい、きちんと公募で審査もされた上で選ばれた方たちなので、別に男女共同を図ったわけでも何でもないので、本当にこれはとてもいいことなんです。そういう生活者の感覚、市民の声が届いて、それでこの都市計画審議会ですべての専門、市議会の先生方と一つ一つ議論しながら、つまびらかにしていくという形が整っておりますので、ぜひこれからは新しいまちだけに、そして多くのいろいろな課題、コロナもそうですが人口減少に向かうということ、学研の開発が一つの転換期を迎えているということもありまして、そういうことを議論できる審議会としていきたいと思いますので、また、よろしくお願いいたしますと思います。今日はありがとうございました。

それでは、代理人の選任をするということになっています。

○柳沢課長補佐　　ありがとうございました。

それでは、続きまして都市計画審議会条例第4条第3項の規定によりまして、会長の職務を代理する者を、会長があらかじめ指名することになっておりますので、会長から代理者の方の御指名をお願いしたいと存じます。

○宗田会長　　それでは、京都大学の大庭委員をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○宗田会長　　では、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○柳沢課長補佐　　それでは、以後の審議会の進行につきましては、木津川市都市計画審議会条例第5条第1項の規定に基づきまして、宗田会長に議長をお願いしたいと思います。宗田会長、どうぞよろしくお願いいたします。

○宗田会長　　ありがとうございます。

それでは早速、審議会に入りたいと思いますが、この審議会は、審議会施行規則第3条に基づきまして、公開で行います。傍聴者の方の入室が可能となっておりますので、御了承をお願いいたします。

今回、傍聴を御希望された方が4名おられますので、ここでお入りいただきたいと思います。お願いします。

(傍聴者 入室)

○宗田会長 分散して座っていただいて。お待たせしました。

では、傍聴者の皆様、お待たせして大変失礼いたしました。

審議会の会議を傍聴する際には、木津川市都市計画審議会条例施行規則第3第8項の規定を遵守していただく必要がございます。その詳細はお手元に配付しております傍聴要領に記載しておりますので、御一読いただければと思います。

それから、傍聴要領の4番にも記載しておりますが、新型コロナウイルス感染症防止のため、傍聴中は、マスクの着用をお願いしております。また、途中で体調不良を感じられた場合は、無理をなさらず御退席いただきますようお願いいたします。また、本日の審議会では、録画・録音などはできませんので、あらかじめ御了承ください。なお、写真撮影につきましては、議事が始まるまでは可能としたいと思いますがということで、撮影されませんね。

では、本日は、審議案件はございませんが、議事録の署名委員の指名を行います。木津川市都市計画審議会条例施行規則第4条第1項の規定により議事録作成については、会長と会長が委員の中から1名を指名することになっております。従来の方でいきますと、別紙委員名簿順ということで、西山委員にお願いしたいと思いますが。

○西山委員 はい。

○宗田会長 すみません。そういう順番でよろしくをお願いいたします。

では、次第に従いまして進めていきます。その他に関して御説明いただけることになっていますが、よろしいですか。

○柳沢課長補佐　都市計画課です。今後の予定でございますが、現在、具体的な案件がございませんので、次回、第30回木津川市都市計画審議会の開催日時につきましては、未定となっております。お諮りする案件が決まり次第、御連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

○宗田会長　ありがとうございます。

ここからは特に議題はないということですが、この委員体制となりまして、今回が初めての審議会でございますので、それぞれ委員の皆様方から自己紹介と、もちろん都市計画に関する思いというのを一言ずついただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。この間もそれぞれ市民の皆さんからいろんな御意見が来ておりますので、そのことにももちろん触れていただいても結構ですし、最新の情報というか、この間熱海の土砂災害等も起こったこともありますので、全国でもいろんな話題が出ておりますので、それを言っていただければと。また、警察、消防の方もおられますので、こういう機会でございますので、何か市民生活の安全上気になることがあったら、ぜひ御発言いただければと思います。

では、どうしましょうか。名簿順にいいですか。市議会のこちらから優先しようかと思ったのですが、名簿順でいいですか。

では、大庭先生からお願いいたします。

○大庭委員　改めまして、京都大学の大庭と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介ということですがけれども、私、京都大学の経営管理大学院というところと、それから工学研究科という2か所に勤務しておりまして、都市計画、交通計画、それから都市再生などを専門とさせていただきながら、そういった研究活動を進めております。木津川市さんとは、この都市計画審議会並びに公共交通の協議会で委員をさせていただきまして関わらせていただいております。

最近、先ほど熱海の話もありましたけれども、激甚災害というのが増えてきて、そ

れをどのように被害をいかに最小化するか、予防してくかということが喫緊の課題だ
と思っております。その中で、特にこれから秋にかけて台風の季節でもございますし、
風水害をいかに予防していくかというのも、今後の木津川市においても大事なテーマ
になってくるかなと思います。最近少し無電柱化という取組を私、関わっておりまし
て、やはりそういう風水害が起きたときにいかに電力を確保していくか、停電になら
ないようにするかとともに、緊急輸送をいかに確保してくかということが大事なのか
なと思っております。

木津駅の駅前が無電柱化されておりまして、非常にいいなと今日も思いながらここ
にまいりました。非常にそういう取組も進めていただければと思っております。どう
ぞよろしくお願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございました。

水害の件が今注目を浴びてまして、この市役所の周辺の電柱にも浸水高さを表示す
る仕組みを先日つくったところですが、山城大水害から間もなく70年になりまして、
この界隈の市民の皆さんの記憶からそろそろ消えつつあって、ちょっと大雨が降った
ら木津川と、それに接続する河川の水量を見に行くという習慣が、この旧山城町界隈
ではあったらしいのです。でも最近そのことを誰も恐れないというか、忘れてしまっ
ていて、見に行くこともまた危険でございますので、御高齢の方が見に行くのを止め
るというのもまた大事なのですが、そういう災害の記憶も大事にしないといけないし、
木津川に常に気を配るというのがこの木津川市の宿命だと。ありがとうございます。

では、井上委員。

○井上委員 改めまして、井上でございます。よろしくお願いします。

私、昭和47年に奈良市役所へ奉職いたしまして、それから10年間都市計画を担
当しておりました。それでちょうどそのときは高度経済成長期でございまして、平城
ニュータウンをつくる。街並みをつくっていくというところにちょうど私が担当して
いる業務内容でございました。

それから、私の今住んでおりますところは、木津中央地区、城山台というところに今住んでおりますが、もともとは木津の鹿背山という山のほうに、隣の加茂町、それと木津、木津の一番東に住んでおりました。それでちょうど私が都市計画を担当しておりましたから、そういうURさんの開発につきましては、かなり関係を持っておりまして、州見台の造成、それから梅美台の都市計画、造成、それから木津中央地区、これがまさに私が住んでおりましたところでございまして、その中でも、私は道路についてかなり関心を持っておりました。木津中央地区には、東中央線という都市計画道路がございます。それで木津川に架橋されてちょうど今もう供用開始になっておるわけですが、これは将来は宇治まで、真っすぐ北のほうに伸ばしていく、そういう道路網につきまして、かなり関心を持っておりますし、これからも勉強していきたいと、このように思っております。よろしくお願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございました。

そうですね。あれも水害のことを意識して山側のほうに進むという線形でございますので、隣の城陽市もそうですし、玉水は何町ですか。

○河川委員 井手町。

○宗田会長 井手町の役場もその道沿いにできてますので、その設計の審査もしましたが、ちょっと木津川も考えないといけないところです。ありがとうございます。

河川委員、お願いします。

○河川委員 河川と申します。よろしくお願いいたします。

備考のところに元UR都市機構ということで書いてあって、私10年ほど前に退職をしております。URの組織の中では住宅、団地を建設していくとか、それからニュータウン開発とか、あと住宅の管理をしていくとか、大きく言うと3つに分かれてますし、実は私はいろいろ皆様方にお世話になっているニュータウン部隊の人間ではなくて、住宅の建設、管理、管理といってもストックの改変だとか、団地の建て替えだとか、そういうことをずっと担当してまいりました。副支社長の職も、その職という

ことでやらせてもらいました。それはそれとしてニュータウン部隊とは非常に、同期もいますし、昔から情報交換もしてましたので、本当に皆様方にも木津地区のニュータウンに関しては本当、会長のお力添えも含め、いろいろとお世話になってありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

それから、10年前に辞めてますが、実は一旦URとは関係なくなっていたのですが、3年ほど前に平城・相楽ニュータウンの関係で国交省の補助事業を使ってまちづくりを少しトライしようということで、3年ほど木津川市の学研企画課の方々とも少し相談をさせてもらいながら取り組んでいました。だがなかなか難しくて、私、昨年の4月にはそれを聞いている中では難しいということはいろいろ経験させてもらいました。

それから、後は高齢化の話、それから人口減少の話、本当に長い時代、昔から思い起こせばいろんな変遷で大きく変わってきてますので、そういうときということを踏まえながら、この委員会の中でも経験が少しでも役立てばと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございました。

では、高等研、牧井委員お願いいたします。

○牧井委員 国際高等研究所の牧井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は大学を出て最初に関わった仕事が「けいはんな学研都市構想」というものでございまして、そのときは何もなく、新聞にそういう構想が記事として出るという程度でございましたけれども、それから40年ぐらいたっておりますが、このような形で学研都市の市域が建設され、発展しつつあるという状況をずっと自分の人生の中で見てきました。最初に学研都市を担当させていただくときに構想、想定といいますか、提唱されました奥田東先生、京都大学の元総長でございますけれども、その先生と一緒にこの辺りを見学させていただいたり、先ほど申し上げた学研都市構想というものに関わらせていただいたわけですが、私は実は住処も相楽台ということで、どっ

ぶりと木津川市、当時は木津町だったのですけども、浸かっているというところでございます。

都市計画というのはよく言う100年の計に関わります。実際にけいはんな学研都市のことを考えますと、本当にあのときどんな学研都市ができるのかという、本当に不安だったのですけれども、やはり皆さんのお力もあって、ちょっとずつですけども今日に来ているということを考えますと、木津川市の都市計画というものが未来に誇れる、次の世代、さらに次の世代の人たちにも誇れるまちづくりにつながるものだと私も期待しております。

行政の皆さん大変なお力も必要かと思えますけれども、この都市計画審議会の委員としてですけども、都市計画審議会と連携をしながら、微力ながら力を発揮させていただけるとありがたいなと思えますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○宗田会長 ありがとうございました。

それでは、市議会議員の先生方に、河口委員から。名簿順ですので、すみません。お願いします。

○河口委員 失礼いたします。河口です。ここに今座らせていただいておりますのは、産業建設常任委員会の委員長という立場で今日、2年前にここで活動させていただいておりましたが、再度ここに入らせていただくことになりました。

私はやはり今までの都市計画でのいろんな審議の中で、そして合併、今ちょうど15年目という節目の中で、いろんな進捗しているわけですけども、課題というのは本当にたくさんあります。ここで今全て語れるわけではないのですが、何せ合併15年目というところで、やはりこの都市計画において、いろいろ計画されて実行されてきた、また、マスタープラン等々の総合計画の中で、じゃあ、どのように一つになり合併して、木津川市が一つになりという、やはり住民の皆様がここに住んでよかったと言われる方と、もっとこういうふうにしてほしいよねとおっしゃる、希望されている、要望されている方、その辺をこの会でどう私たちは、議会では提案をしてどう進めて

いくつかというのが、まず一つの課題であるかと考えております。

それと防災面の話が出ましたので、いま一つだけ懸念しているのが、メガソーラーの問題です。森林の開発によって、メガソーラーがいけないというわけではなく、それにより災害がすごく大きくなってきている。そういう自然災害の中での森林の開発という、そういうところもまだまだ木津川市の中ではありますので、その辺も着目していきたいなと思っております。いっぱいあるのですけれども、私が今の気持ちの中でちょっと引っかかっているところを自己紹介的に述べさせていただきました。

この2年間どうかよろしくお願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございます。

メガソーラーの話が出ましたけども、ソーラーの条例って木津川市、まだですか。

○河口委員 できました。

○宗田会長 できましたか。宇治でこの間審議したばかりで。そうですか、できましたか。また、それ資料配っていただいて、勉強させていただきます。すみません。ありがとうございます。

では、兎本委員。

○兎本委員 市議会議員の兎本です。産業建設常任委員会から来させてもらっています。前回は2年間させてもらいました。継続してこちらの方、お世話になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私としましては、20年ぐらい前の話ですけども、大阪工業大学のほうで学生をしてまして、専門は旧土木工学科でして、都市デザイン工学科を卒業させてもらっています。当時、研究室にいたときは教授の先生と、当時ですと大阪の西梅田の辺りの開発等々のお手伝いをさせてもらった経験がございます。今回、マスタープランを新しくさせてもらったときも参加させていただいてましたけども、私としましては都市施設を具体化していく必要があるのかなと考えております。今コロナで病院の病床数が足りないというところも、今、京都府の考えですと人口ペースが、京都府さんが考

えている人口ペースよりも早いペースで木津川市の人口が増えておりまして、その中で病床数であるとか、消防であるとか、警察も確か人口ペースからすると大変なのかなと聞いておりますので、そういったところで都市施設というのが、もっと具体化した都市計画をしていかなければならないのではと考えております。

そういったことで、今回参加させていただいてしっかりと木津川市がよくなっているように頑張っていきたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございました。

続いて、倉委員。

○倉委員 改めまして、皆さん、おはようございます。市議会議員の倉でございます。

私は専門と申しましょうか。一級建築士であります。また、インテリアプランナー、住宅耐震診断士、そういう肩書で建設業界に携わっているわけですが、私の住んでいる場所は平尾に住んでおりまして、先ほど防災の話が出ましたが、京都府さんの事業であります、防災避難の関係で木津川市危機管理課と京都府さんと、南平尾が協力して、いわゆるタイムラインの作成ということで、まず木津川市の一番目にそれに携わってもらいました。そういった意味では今木津川市全域に広げていっている段階なので、自分の命はまず自分で守らなければならないという、自助・公助・共助とありますが、そういった中では、やはり市民の方にそういう意識を持って、いわゆる避難の、自分の命を守る時間を認識していただきたいなと、このように思っております。

先ほど宗田先生から、木津川市は新しいまちであるという話が出ましたが、もちろんURさんにお世話になって、近隣では城山台がまちづくりをしたということなので、すけども、たくさんの新しい住民の方も住んでいただけてます。

ただその一方で、過疎化の進んでいる地域はたくさんありまして、いわゆる住宅が荒廃してきて、それこそ地域の通学路にも危機を及ぼすような場所もあるということで、二極化している部分があるので、私はそういった部分の危機感を覚えている一人

であります。そういう中で地域の方々がいかに過疎化を、過疎化するのは仕方がないのですけども、減速することに力を入れていただいて、それに行政が協力していく形がこれからも重要ではないかと、このように思っております。

幸いに東中央線の延伸のお話がありまして、城陽井手木津川線です。24号線バイパスという位置づけで今後工事が進められるものと思っております。新名神までつながるということで、木津川市のまちづくりにとっては必要不可欠な道路でありますので、それに関連する、いわゆる道路整備も国、京都府さんにも力強く要望をお願いしたいと思っておりますので、今後とも木津川市のまちづくりには注意を注いで研究していきたいと、このように思います。どうぞよろしくお願い致します。

○宗田会長 ありがとうございました。

西山委員、お願いします。

○西山委員 総務文教委員会からまいらせていただきました西山と申します。よろしく願いいたします。

私は南加茂台に住んでおりまして、たまたま今日のメンバー、議会から出ているメンバーを見ますと、加茂町が4人と、山城町が1人ということで、今、倉さんからおっしゃったように過疎化をすごく感じているところから来ているような状態になっております。

私、議員にならせていただいて10年が過ぎましたが、この都市計画審議会には初めて入らせていただきました。このまちづくりの基本は、こちらのところではかなり重要な位置で審議されているということで、すごく楽しみとさせていただきます。宗田会長からもどんどん意見をという形の進め方をさせていただいているということで、そこは安心してまた発言させていただけるかなと思っております。

私自身は南加茂台なのですが、もともとは富山県高岡市の出身です。京都でもいろんな意見があります、北陸新幹線が通りましたけれども、それによってすごく地域が疲弊しているというのを目の当たりにしております。JRも三セクになって地元

の人たちが本当に移動の手段が車に頼らざるを得ないというところがあります。直近で大和路線が減便という話もありまして、やっぱりまちづくりに対して木津川市がどのようにいろんな意見、そして展望を持って進めていくかという部分が大きいかと思っています。いろんなところに関心はありますけれども、今日は皆さんの意見を聞かせていただきたいと思っておりますし、この程度にしておきますけれども、多分これから先批判的な意見もさせていただくことになるかと思いますが、そこは許していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございました。

高岡も文化財、お寺があって、お城も。そちらの方向に今かじを切ろうというか、有名な金属加工の会社もある。加茂町というのも京都有数の浄瑠璃寺はじめ文化財があるところで、河井市長が浄瑠璃寺は世界文化遺産にならないのかとおっしゃってて、私も真面目に受け止めて検討してるのですが、そういう京都府内でも有数の文化財を持っている自治体でもありますので、その意味でいろいろ御意見承って新しい方向も、新しいまちではあるけど同時に奈良時代以降の長い歴史がありますので、ぜひそこは留意したいと思います。ありがとうございます。

酒井委員、お願いします。

○酒井委員 酒井弘一です。市議会議員が5人いるわけですが、前の3人の方々が産業建設常任委員会のメンバーです。西山さんが総務文教、私は厚生常任委員会から選ばれて都市計画の委員をさせていただいています。前回に続いて委員会から送ってもらったということになります。よろしくお願いいたします。

私は加茂町、駅前におります。私も出身は兵庫県ですけども、加茂に住んで50年になろうかということになります。人生のほとんどは京都府南部、ここで暮らしておりますし、知り合いも、また様々な関わりもこの地域でっております。冒頭の御挨拶で宗田会長が、前回あたりから特に私も感じるわけですけど、形骸化した審議会ではあかんと、しゃんしゃんではあかんということをおっしゃっておって、審議会の

度に全員発言を追及されている姿、私はものすごく大事なことだと思っています。その会長の姿勢をうれしく思いながら、1個だけお願いしておきたいと思います。

市民が非常に関心を持っている都計審だと思います。今日も4人の傍聴者がみえているというのは、なかなかそんなにならないことだと思うのですが、3年前か、4年前、城山台九丁目1の用途変更を行った審議会がございました。私はそのときは都計審の委員ではなく傍聴しておった立場なのですが、その用途変更について、用途変更を行った都計審の見直しを求める市民からの要望が出たと聞いておりますので、しかるべき扱いをお願いしたいと思っています。以上です。

○宗田会長 ありがとうございました。

まだ私も十分聞いていない段階ですので、事務局と相談して次のときには必ず。とりあえずその意見が来たということは昨日かな、聞いておりますので、またしかるべき時期にご報告したいと思います。ありがとうございました。

それでは次、関係行政機関にまいりまして、山城南土木事務所長の渡辺委員、お願いします。

○渡辺委員 山城南土木事務所長の渡辺でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私、この4月から土木事務所にまいりました。ただ、担当のときにも山城南土木事務所におりまして、地理的には大体分かっているかなと思っております。そういった中で皆さん御承知だと思うのですが、京都府の土木事務所として相楽郡の木津川市さんをはじめまして、1市3町1村の管内を持っております。日頃いろいろと事業には御協力、御理解いただいていることをこの場をお借りしてお礼申し上げます。

前段、最初にも話が出てましたけども、最近雨が非常に多くなっていて、全国どこかで毎年のように大きな水害が起きております。幸いにして京都府ここ1、2年は大きな災害というのはなかったのかなと思ってますけど、今年も梅雨が非常に早く入ったと、雨も100ミリ程度の雨は何度かあったのですが、大きな災害には至らなか

ったという状況なのですが、いつ何どき、京都府もそういう水害が起こるのか分からない状況でございます。そういった中で治水対策ということで、改修であったりとか、当然非常時であっても輸送路を確保するということで、道路整備をやっております。まちづくりの中でそういった基盤整備といいますか、道路、河川の整備というのは必要なものだとは認識しておりますので、これから、そういった部分で担当している部分もでございますので、引き続きそういうところに尽力してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございました。

では、木津警察署さんからお願いします。

○藤原委員 木津警察署長の藤原でございます。この3月に私も着任いたしまして前任は警察本部の少年課長を2年間やっておりまして、京都府下全域の少年問題、少年非行問題を含めてやっておりました。当時の木津署長からよく暴走族がようけ走ってるんだと、応援くれという話をされまして、木津署は忙しいのだということ言われたのですが、これは私の反省点なのですが、警察的には城陽、八幡、田辺、木津これ南部4署といいまして、大体スタートは管内住民の規模とか、警察の規模も同じぐらいでスタートしているのですが、警察本部もまだそういう認識なのです。私が少年課長をしててもそういう認識で、署長が忙しいというから応援は出したれという話で出していたのですが、自分が来てみてその当時の署長がおっしゃっている意味が非常によく分かった。この木津川市さんだけで、多分城陽市だとか、八幡市と同じような規模の人口がおられて面積も広いという話であります。

私も二十数年前、ここの管内で短い期間でしたけどもパトカーに乗ったこともあるのですが、着任してJR木津駅を見てびっくり、木津駅の向こう側を見てびっくり、城山台から梅美台、州見台と抜けるところを走ってみて、ここは木津なのだろうかと思った印象はございました。従来のいいところは残っているのですが、警察署的にはそんな印象で警察官の数がそんなに増えているわけではないので、そういっ

た住民の方が大勢おられるということは、それなりに警察事象も増えてきていますので、警察行政としていかにしっかりとしたものを提供できるかということを常々考えて、署員一丸となって今取り組んでいるところではあるのですが、一方で、その都市計画審議会の委員というお話をいただいて、警察的にこれどういう立ち位置で話をさせてもらうのだろうかというのが、なかなか想像できない部分もあるのですが、災害云々というところは警察関係していますので、いろんなお話をいただければ警察的なところでお力になれるところは精一杯やっていきたいと考えております。

また私ごとなのですが、若い頃に、40代ちょっと前ぐらいに3年間ほど霞が関にあります警察庁というところに出向しておりました、そのときにやった仕事が、当時まだ世間的には今皆さんもあまり聞かれたことないかもしれませんが、防犯環境設計という仕事をやっておりました、何かというと1番はまず、当時防犯カメラという肖像権の問題で国民からは駄目だという話だったのですが、これを世の中に防犯カメラが当たり前には認められる世論をつくれというのが一つ、そういう委員会をやってました。その中で、防犯環境設計というものを学びまして、そういうものを仕事としてたことがございまして、若干そのときのお話もまたこの後、都市計画の中で少しお話できることもあったらさせていただきたいと思っております。

どこまでやれるか分かりませんが、微力ながらしっかりやりたいと思います。よろしく願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございます。

なかなか御理解のある署長さんで楽しみだというのがあって、隣の精華町の都計審の会長もこの間引き受けたのですが、所管なんですよ。向こうには署長さん来ていただいてないものですから、ぜひ精華町でも委員になっていただきたいと思うところなのですが、いや、犯罪認知件数を木津署のホームページから見たらむしろ精華町のほうが高かったのです。これ年間ごとに出ているので、まず生活安全犯罪認知件数がどのくらいあるかということで、もう一つが交通事故。私、大津市の都計審もやって

いるのですが、大津でも幼稚園児を巻き込む大変な交通事故とかありまして、ああいうことこそまさに道路をどう造るかという大きな問題ですから、警察に関わるということのは都市計画も市民の生活安全、そのまま防災にも交通もそうですけど、非常に重要なことをいろいろ教えていただいてということと、いろいろ長い議論があったのですが、京都の四条通のアーケードの下のカメラを置くときの委員をやってまして、あのときもすごい反対があったのですが、今の五条署というか、下京署にものすごい頻度でデータ提供してますけど、あれ結局膨大なデータを撮るのですが、結局お巡りさんしか見ないですあんなもの。プライバシーとか言うのだけど、今NTTに全部管理を任したりしてますけど、だからそういうことをこれからも議論をして、まだ御理解いただいてない問題とかもありますので、とてもいいお話をいただきましてありがとうございました。

では、今度は消防のほうからお願いします。

○勝山委員　改めまして、相楽中部消防の勝山でございます。

ここ数日、新型コロナウイルスの感染が急増しておりまして、重症者数や病床の使用率、こちらも逼迫しております。週明けにも大阪府に緊急事態宣言が、京都府にもまん延防止措置が出されたと聞いております。また梅雨明け後、連日猛暑日が続いておりまして、熱中症による救急搬送も増えてございます。これから本格的な台風シーズンにもなります。本日明朝にも地震もございましたし、自然災害の心配な季節となります。消防といたしましてはこれらにしっかりと対応してまいりますので、どうぞ皆様方につきましても、引き続き消防に対しまして御理解と御協力よろしく願いいたします。以上でございます。

○宗田会長　ありがとうございます。

本当に忙しい中、日々気が許せない中、御出席いただきましてありがとうございます。

公文代委員、お世話になっております。よろしくお願いいたします。

○公文代委員 農業委員会から選出された公文代でございます。

農業委員会の略歴でいいますと、山城町時代4期12年、そして合併前2年半、そして合併になってからこれ4期目ですか、とにかく二十何年、もう30年近く農業委員をさせてもらっておりますけれども、会長はそのうち15年させてもらってきたわけですが、農業のことは、都市計画で大変なほどありますので、それを割愛して私も略歴と言ったら何ですけれども、27歳から不動産をやっております、いつの間にか土地をあちこちで買ったりして、区画整理審議会を三山木、高架にしたああいいう形の三山木、今は駒田、それから精華町の駅前、それから木津川市の駅前、山城町駅周辺です。それとURの南地区、中央地区を審議させていただいて、いろいろな各市町村の形態というか、考え方、少しずつ違います。手法も少しずつ行政によって違うなというのを肌で感じております。

それと、先ほど奈良の話をされましたけど、奈良で三条通、ここにも駅前に持ってたものやから、ああいいう拡張して広げるのにも一部携わることができました。そして45年に遡りますけれども、昭和45年には近江八幡市へ私行きて、そして開発をしかけて、水道も下水道どころか排水もないところをやっている、そして近江八幡は近畿地区でも一番都市計画の初めに整理されたところではないかと思えます。公共の施設が一括して、ずっと並んでおります。

それは別にして、それが下水もないところが銀行、滋賀銀行と八幡信用が私の造成した入り口に建つようなまちになっているということで、繁華街やった。2万円の土地が8.5万で売れたんです。昭和56年ぐらい、そのぐらい変化したんです。45年にそういう町の変化も移り変わりました。

しかし、ここで宗田会長もおっしゃったのですけれども、電柱にいろいろ水位をこれ10か所されたということですが、この木津川市の中心市街地です。活力を生む中心都市拠点の形成、それとずっと住み続けてよかったという、こういうことをここにテーマとして挙げているわけですが、この中心市街地がこの高さで水害

が起こったら、水没する。そうしたときにどう考えるのか、中心市街地が5メートルも水没する。そうしますと、ここに新旧格差のないまちということにうたっておられたと思うのです、当初。そのときの問題として旧市街地には木津池田、駅前です。それから南後背含め、交互に一種低層の地域がございます。中心市街地にありながら水没する。避難過程これも大事、やっぱりいろんな人、体の不自由な人もおられます。こういう中でどうするのか、これ規制緩和なのか、規制をして逆に住んでは駄目よというようにするのか、どちらか考えていかないと規制か、緩和ですね。一種低層外して住居それ以上にするのか、そして3階、4階に建って、その場所を避難場所にするのか、水害ですので、今の土砂流とか、そういうものはないと思いますので、この辺どうするのかというのが印だけして終わったら駄目だと思います。

倉氏から、先ほどありましたように地域では防災ということで、山城町ですけれども地域の人、一生懸命やってくれています。しかし防災グッズです。炊き出しを含めて、これをどのように保管するのか。公共で保管しようと思ったら水没するところばかりです。今後、公共施設をどのようにして移転していくのか、建て替えをするのか、こういうことも大きな課題として出てくるのではないかと。それと災害という問題で、これはまた河口さんも触れていただきました。太陽光の問題。これみんな心配して昨日も夜、地域の人々が来られて、里道の付け替えの提案が来てるからどうしたらいいんだと。あの問題は反対する人、一部賛成する人、地域の問題をずたずたにしているような今の現状です。条例も作っていただきましたけれども、行政の力、考え方をしっかりといただいて、この辺を組織していただきたい、そしたら災害一つでも少なくなる。あれができますと、私は28歳、中学生でしたけれども、災害に遭っていません。そういう面で心してお願ひしておきたいと、このように思って、いろいろ言いたいことありますけれども、時間ございますので、よろしくお願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございます。

一番核心的なことを言っていただきましたが、併せて言うと、今おっしゃったよう

に地域住民の中でも当然意見が分かれています。今の里道の付け替えとか、同時に市全体でも意見が分かれるわけです。市の行政としてのというか、市役所のスタンスを決めるときに我々審議会があって、ここで審議するわけですから、だからここでしっかりと市民の代表の市議会議員もおられる中で、市がどういう都市計画をすればいいかということの議論をちゃんとしていかんといかんの、あらゆる課題をここで洗い出して、そこで審議会としての議論をし、答申をするという形になりますので、そういった意味で、とにかく市役所に丸投げするということではなくて、我々一人一人がそれぞれの専門の立場からどういう判断をし、どういう意見を言うかということですよ。そういった意味で公文代さんの今の御意見というのは重く受け止めたと思います。ありがとうございました。

では、森村商工会長、お願いします。

○森村委員　商工会の森村です。私も5月の末に商工会長になりまして初めて参加させていただきます。

商工会というのは商売を通してこの木津川市を元気づけよう、盛り上げようというのと、生涯を通して地域のコミュニティーを守ろうという2つの点から活動しています。その点で考えますと城山台が人口が増えてきて、日本有数の人口増加のまちとなっていますけども、これが20年先、30年先、40年先、ずっと持続していけるのかなと。我々も商売として大店法がなくなり、大店舗が入ってきて、チェーン店が入ってくる。その中で各個店がなくなって行って、そして人がいなくなって大型店舗が撤退していく、そしてそこに残った地域の人たちはどうなるのかなと。買い物弱者ばかりをつくっていつている。今、この木津川市の中においても、人口が密集しているところは行くけれども、過疎化しているところについては商店がだんだん廃業という形でなくなっていつています。そこの方々が本当に買い物に行くのにも困っている方々がいっぱいおられます。そのことを踏まえた中での計画というのをやってほしいなと。やっぱり城山台を見てても区画、一画、同料金みたいな形で売り出しされているので、

今本当に若い子供を、小学生の子供とか、幼稚園の子供をつくるような方々ばかり来られています。その中で学校を造っていったり、いろんなことを行政がしていったら、その後また誰もいなくなった、残ってしまった、施設が残った、小学校が残っているとか、中学校が使い道がなくなっているということが起こらないような持続可能な、いわゆる都市計画というのと一緒に、我々も持続可能な商売というやり方を一緒に考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○宗田会長 ありがとうございました。

なかなか皆さんすばらしい御意見おっしゃっていただいて、ありがとうございます。

では、市民代表の公募委員の皆様をお願いします。光橋さんから。

○光橋委員 今回初めて審議会に参加させていただきます光橋です。よろしくお願いいたします。こういう場はあまり経験がないのでとても緊張しているのですが、市民の立場から気がついたことを言えたらと思います。

今年4歳になる孫がいるのですが、保育園が休みの日とかはお父さん、お母さんに公園へ連れて行ってもらって、遊ばせてもらっているみたいなのですが、木津川市も小さい子が遊べる公園は城山台、梅美台、州見台、新興住宅地もたくさんできていろんなところに連れて行ってもらって孫も喜んでいるのですが、自分の子育ての経験からいうと3人息子がいるのですが、息子が小学校、中学校のときにちょうど駅前で、実は駅前で光橋書店をしています。すみません。遅くなりまして。ちょうど駅前の開発で家の裏が、今、老健さんが建っているところが空き地になっていたんですね。それでちょうど子供が、息子たちが小学校、中学校のときに広い空き地ができてましたので、そこでキャッチボールとか、サッカーボールで放課後友達遊びに来てみんなで遊んでいたのですが、今そういう、例えばボールを使ったりとか、小学校、中学生ぐらいの子が遊べるような広い場所が少ないように感じています。また、そういう場所が増えれば今保育園の子、幼稚園の子のたくさんいる城山台の世代も、あと10年、20年すれば、だんだん子供さんも大きくなっていきま

すし、そういう場所が増えれば安心して、安全に子供さんが遊べる場所がもう少しで
きればなというのを最近感じています。

また、いろいろ、まだまだ勉強不足で都市計画のこととか、分からないことが多い
のですけれども、皆さんのお話を聞きながら勉強させていただきたいと思います。2
年間よろしくお願いします。

○宗田会長 ありがとうございました。

ちょうど今おっしゃったことと、さっきの森村さんがおっしゃったことが一部重なる
のだけど、今、子育てされている方は遊び場とか、小学校が必要だとおっしゃって、
それに応えていくのも重要な仕事なのだけど、ところが昔と違って人口減少期に差し
かかっているので、1回使ったら使わなくなる小学校を無駄だと分かってて造ってい
かないといかん。一方でおっしゃったように養護施設は急速にこれから需要が、また
必要になってくる。その辺をどう調整していくかという審議会ですので、人口増えて
いくときだったら、子供の遊び場が必要だ、じゃあ造ってあげよう、小学校も、とい
う状況だったのだけど、さっき持続可能だとおっしゃった、そこの辺のまた難しさの
議論もしますので、ぜひよろしくお願いします。

では、尾崎さん、お願いします。

○尾崎委員 私は2年前まで保育園で働いておりまして、定年退職になりまして、
それから現在は山城子育て支援センターというところで週3回、まだ年金をもらうま
でそこで働かせてもらおうと思って、現在働いております。今、城山台の方がすごく
増えているということで、私は山城のほうでやっていて、山城も子供がとても少なく
なってきたので、子育て支援センターも7割ぐらい城山台から親御さんがみえており
ます。そこでいろんな相談をしたり、子育ての、私も経験者でいろいろとアドバイスを
をしたり、お母さんの友達、ママ友を探しに来たりして、お盆も開いておりますので
とても喜んでおられます。そんなところで仕事をしてたのですけれども、今ここで公
募があって、応募したその題目が、子育てをするのに住みやすいまちづくりについて

というので募集されていたので、とてもそれが興味ありまして、今の子育てしているお母さんの一番近くにいるといえますか、いつも親御さんの話を聞いて、お母さんにも木津川市で一番いいまちづくり、何が一番いいと聞いたらやっぱりそのお母さんは今保育園行ったり一生懸命やっておりますので、公園の充実とか、そういうのもいろいろありますけれども、やっぱり待機児童をなくして保育園へみんなが入れるようなそんなまちづくりをしてほしいとか、それといつでも相談できる機関、たくさん木津川市は支援センターも充実していると言えはてるかなと私勝手に思っているのですが、そういうところをいっぱい増やしてほしいという感じで、日々そういう意見は聞かせてもらっています。

都市計画とは、私もここ場違いかなと思って来たのですけれども、また、いろんな意見を聞きながら、都市計画の勉強もしながら参加させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

○宗田会長 ありがとうございます。

市長さんがそういう公約を挙げてるものですから、お二人の意見、子育ての意見が都市計画審議会でちゃんと出てくるというのはとてもいいことだと思います。ありがとうございます。

では、藤田さん、お願いします。

○藤田委員 藤田と申します。よろしくお願いいたします。

私も今回初めて応募させていただきました。都市計画、あまり身近に今まで感じてきていなかったもので、改めて応募させていただいていろんな資料もインターネットとかで、これまでの流れとかを見させていただいて、本当に50年、100年先を考えたことを、実際これまでされてきたのだなということを改めてすごいなと思ったとともに、今後、今子育てをしているのですけども、50年、100年後、子供よりもっと先の年代になると思うのですけども、その子たちに負担を残さないというか、今よりも住みやすいまちづくりにできればいいなと考えています。

それともう一つ子供を育てる中で、いろんな自然に触れたいと思って、鹿背山であったり、木津川であったり、そういった自然をベースに子供との触れ合いを続けてきましたので、それが身近にできるというのが木津川市のすごくいいところだなと思いますので、そういったところを大切にしながら都市計画していただけるように、意見をさせていただければいいなと思っております。よろしくお願いいたします。

○宗田会長 ありがとうございました。

都市計画審議会は、今まで都市計画が他の行政分野とあまり関わってこなかったというの大きな欠陥でして、例えば環境政策でいうと2050年カーボン・オフセットと大きな目標をこの国は挙げてまして、そういうことを実現するためにはどういう都市構造をつくらなければいけないとか、今この木津川市の皆さんが車をもちろんよくお使いになるわけだけども、そこをどう改善していけばいいとか、それからもちろん緑地の問題もそうですし、都市気候といいますけど、風の流れをどう調整することで、ヒートアイランド現象を抑えるかということも大きな課題です。せっかくクラスター構造で緑に囲まれるような造りをしているのだけども、個別に住宅を建ててしまうものだから、その住宅一つ一つの高気密・高断熱で省エネになっているとはいっても、一歩出ると、都心並みにすごく熱かったりすると、こういう問題もある。

それからもちろん福祉の分野は、高齢化が2040年まで、まだまだ進んでいくわけで、こういう新しいまちですと高齢者の方のいろいろな課題が、施設ももちろんそうですけど、買い物難民の話在先ほどおっしゃってましたけど、どんどん買い物が不便になっていくわけで、皆さんが大型店に車で行けるわけでもない、こういう問題もある。ですから、今子育ての問題をお話しただけでしたが、環境問題から交通問題ももちろんそうですし、それから高齢者の問題のようなことが、次々と出てくるのがこの都市計画の課題で、そもそもその都市の20年、30年、50年先を見据えてつくっていったことが、もし間違っていたとするならば変えなきゃいけないというのも、この都市計画審議会の大きな課題ですので、既に決まってるから訂正しないというわ

けでももちろんありませんので、一個一個点検しながらその時代に即した形で議論をしていく、やはり市民の生活をよく観察しながら何が起きているかということを見ていくということが大事ではないかと思います。

今日は最初の会なので、皆さんに自己紹介の場ということから始まりましたけれど、大変内容のあるお話を承りまして、こういうメンバー、こういうそれぞれの専門性を生かして、お立場を生かして、こういう発言をするのだということが、よく分かった、とてもいいことかと思imasuので、委員同士で意見のやりとりというか、質問も当然あると思imasuので、警察署長さんに聞くとかということも、なかなか警察署長さんと直に話せる機会というのはないので、こういう席を使っただいて議論させていただければと、ありがとうございました。

それでは、これで今日の議論は終了させていただきますので、ここからは進行を都市計画課へお返しします。どうもありがとうございました。

○柳沢課長補佐 どうもありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、滋井部長が御挨拶申し上げます。

○滋井部長 建設部長の滋井でございます。改めまして、どうぞよろしくお願いいたしますします。

さて、今回は皆様に木津川市都市計画審議会委員に御就任をいただきまして、最初の審議会として開催をさせていただきました。

本日議事におきましては、まず、会長に宗田委員をお選びいただくとともに、委員お一人お一人から自己紹介を賜りまして、大変有意義な会になったかなと思っております。よい機会になりました。

宗田会長をはじめ、審議会委員の皆様方におかれましては、今後、この審議会におきまして、それぞれのお立場から本市のまちづくりに対しまして、御意見、また、御指導を賜りますよう、よろしくお願いいたしますします。

結びに、皆様方の御健勝とますますの御活躍を御祈念申し上げまして、閉会の御挨拶

拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

○柳沢課長補佐　それでは、以上をもちまして、本日の木津川市都市計画審議会を閉会いたします。長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。

この議事録が正確であることを証するため、会長及び議事録署名人はここに署名する。

令和3年10月22日

会 長

宗田 好史

令和3年11月 2 日

署名委員

西山 幸子